



自撮りする母

2017 k-yamaoka/Paradiddle presents

最近流行の写真投稿系SNS。  
その流れはどうかやたらアダルトにも波及しているようで、女性関係にオクテな僕はいつしかそんなサイトを巡回するのが半ば日課のようになっていた。  
ある日、いつものようにSNSを見てみると、とある大手サイトの最新投稿ページに何やら見覚えのある人物の投稿が目にとまった。



「アキ」42歳です。普通のおばさんですが……。  
そう題されたページには、開設されたばかりのルームと数枚の何とということはない写真が投稿されていた。

——その名前と年齢は、確かに僕の母と一致していた。

母は、最近ガラケーからスマートフォンに替えたばかりである。そしてそれはこのページの開設時期と一致していた。しかし……。結局僕は、本当にこの投稿者が母なのか、僕には確信が持てないでいた。もしかしたら、他人の空似だと思いたかつたのかもしれない。それにこの女性は、見る限りどこにでもいる普通のおばさんだ。こんな大手のサイトでは、誰にも反応されることなく投稿に飽きてしまうかもしれない。それなら……。

だが、そんな僕の思惑はあつさりとうらやまれることになった。

この女性の普段っばさが、逆に男たちのエロスを刺激したようで投稿された写真には、軽薄な称賛が並ぶようになった。催促は、徐々に過激なものとなり、女性の露出度は高くなり、閲覧者との交流も密になっていった。少しづつその声に答えが返ってきた。投稿のおばさんとしてか「普段はただの主婦です。家族からはおばさんとして扱って貰えないので、こちらでの反応はとて新鮮です。そんな様子を見て、この女性がSNSにのめり込んでいく様子が僕にも手に取るように理解できた。」



「……………どうしたの？ぼんやりしてないで早く食べて。」  
いつの間にか、僕はあの投稿者と母を比べるようになっていった。

確かに似ている……………。  
でも、この飾り気のない母が、今さら性とは無縁に見えるこの母が  
あの軽薄な男たちの口車に乗る、チヨロい投稿者とはどうしても重ならないでいた。

（やっぱり……………あれは母さんじゃない。他人の空似に決まってる。）  
そう思いながらも、やはり僕はまだ、どちらの確信もできないでいた。



投稿者の人気はそれからも順調に伸び続けていた。けれど投稿内容はそれから大きく変化することはない。安心しかけていたそんな頃。この状況に大きな変化が訪れた。

なんと、このSNSの有名な男性投稿者から、女性宛てにレスポンスがあったのである。



男性はフォロー数5万人を超える、このサイトでは有名な投稿者である。顔出しで投稿した写真を見ると、若くて美しい、かなりのイケメンのようだった。投稿内容はマニアックで、特に歳の差にこだわりのあるらしく、熟女のセフレとの濃厚なプレイ内容の投稿で人気を博していた。

人気が出てきたとはいえ、まだまだ末端投稿者の女性には、人気者からのコンタクトに舞い上がっているようだった。二人は公開のやりとりでしばらく意気投合したあと以降はDMで直接やりとりを始めたように、その後はしばらく投稿が途切れることになった。

しばらくして、その女性の姿を見たのは、女性のルームではなく、なんと男性投稿者のルームでだった。

「最近赤丸急上昇中のアキさんと♪」

と題されたその投稿は、どこか公園のようなところで、女性が露出させられている姿だった。

4:45



お色気は見せても、決して脱がなかった女性投稿者が、人気者とコンタクトを取って  
すぐに脱がされてしまったのである。当然「アキさん」のファン達是非難の投稿をしたが  
「アキさんを脱がしたのは俺の手柄なんだから、逆に感謝されてもいいんじゃないかね？」  
という人気者の言葉に、皆押し黙るしかなかった。そして最後に  
「色々話して意気投合したので、これからどんだん脱がしてイキます！」  
という宣言をして、投稿は終わっていた。僕は焦燥感とともに、胸が高鳴るのを感じていた。



……そして、人気者は有言実行だった。宣言通り女性を脱がせた後

「初フェラ☆」

と題された投稿では、とうとう女性にフェラチオをさせている画像が投稿されていた。男のペニスは長太く、筋肉質な巨体に釣り合っていた。

「旦那さんにもフェラはしたことがないそうです☆ごめんなさい♪」



そうおどけて、夫以外の、ふた回り近く年下の若い男の巨大なペニスを苦しそうに頬張る女性の表情は、しかし顔を隠してもわかるほどに嬉しそうだった。

次の投稿は一週間後。  
いくつかのヌード投稿とともに  
「とうとうアキコさんとやりました！サイコーの熟マンコ！見た目とは裏腹にドスケベなアキコさん激萌えです♪」  
というポストがされていた。わかつていたが、とうとう……。そう思った矢先、さらに驚きのポストがされていた。

「今まで目線入りの投稿でしたが、こんな素敵なアキコさんのドスケベ記念写真を、独り占めするのは申し訳ないと思いついて、プレミア会員限定で交尾写真公開を決定しました！」

……僕は、一も二もなく男のページの有料会員登録をした。  
とうとう、アキコさんの素顔が見れる……。本当に母なのが、それとも他人の空似なのか……。

心臓が破裂するほどの緊張感で、手を震わせながら有料ページにアクセスすると、そこに映っていたのは……。  
まぎれもない、母の姿だった。

僕は周りの景色が、ぐちゃりと歪むように感じていた。

20歳近く歳の離れた男女のセックス。  
その異様な性交の、片方は生まれてから最もよく見知ったじよせいである母。  
もう片方は、ネットで人気があるだけの、軽薄でチャラい男。  
そしてそのセックスは、写真で一見しただけでわかるほど、愛情のかけらも感じない  
性欲を満たすだけの獣じみた交尾だった。

にもかかわらず母は、僕に見せたこともないような  
満面の笑みで、乱暴なまでの男の獣欲を、全身で受け止めていた。  
母はこんなにも女で、いやらしく、艶めかしく、そして美しくつたのだ。  
人生最大の興奮とともに、僕は手のひらから、指の間から、するりと大切なものが  
零れ落ちていくのを感じていた。





それから何分経ったかわからない。僕はぼんやりと、最後の画像を眺めていた。母は、その歳では妊娠の可能性が薄いだろうと、見下されながらたっぷりと膣内射精されていた。普段の母からは想像もできないような、蕩け切ったマヌケ面で、ピースサインをしながらマンコから男の精液を垂れ流している姿を晒している。

人気者のオモチャにされ、性欲処理に使われただけの母は、とても満足そうに、心底嬉しそうな表情と笑みを浮かべていた。

.....それはもう、僕には向けられることがないだろう、幸せの貌だった.....。

**2018 paradiddle presents**

**Pd**

**奥付**  
**誌名：自撮りする母**  
**著者：山岡鋼鉄郎**  
**発行日：2018/05/05**

steel@xo.strippler.jp  
<http://steel.b.dlsite.net/>

**18歳未満の方の閲覧を固く禁じます。**

**for adults only**